平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月5日

上場会社名　ティーライフ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　3172　URL　http://www.tealifeir.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 植田　伸司
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長　(氏名) 鈴木　守　TEL 0547-46-3459

四半期報告書提出予定日　平成25年6月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第3四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	4,213	―	242	―	253	―	141	―
24年7月期第3四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注)包括利益　25年7月期第3四半期　194百万円　(―%)　24年7月期第3四半期　―百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	33.38	―
24年7月期第3四半期	―	―

(注)当社は、平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年7月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年7月期第3四半期	4,222	3,394	80.4
24年7月期	―	―	―

(参考) 自己資本　25年7月期第3四半期　3,394百万円　24年7月期　―百万円

(注)当社は、平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年7月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	―	0.00	―	20.00	20.00
25年7月期	―	0.00	―		
25年7月期(予想)				23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 7月期の連結業績予想(平成24年 8月 1日～平成25年 7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,137	―	504	―	510	―	300	―	70.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

(注)当社は、平成25年7月期第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 有
新規 1社 （社名） 株式会社アペックス 、 除外 ―社 （社名）

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年7月期3Q	4,250,000 株	24年7月期	4,250,000 株
② 期末自己株式数	25年7月期3Q	57 株	24年7月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年7月期3Q	4,249,994 株	24年7月期3Q	3,656,022 株

（注）当社は、平成23年11月２日付で普通株式１株につき50株の株式分割を行っております。そのため、平成24年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（連結の範囲の重要な変更）
第２四半期連結会計期間において、株式会社アペックスの全株式を取得したことにより、第２四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
（株式分割について）
当社は、平成23年11月２日付で普通株式１株につき50株の株式分割を行っております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

第２四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えするなか、欧州債務問題や新興国の成長鈍化による世界景気の減速に加え、長期化するデフレの影響から、先行き不透明な状況が続いていましたが、昨年12月の政権交代以降、新政権による経済政策への期待から、行きすぎた円高の是正や株価回復の動きなど変化の兆しが見られるようになりました。

小売業界におきましては、消費者態度指数に改善の動きがみられたものの、所得環境の伸び悩みに加え、将来における消費税率引上げ等への不安感から、消費者の生活防衛意識は高止まりしており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引続きお客様視点に立ち、低価格志向に対応した商品を導入するとともに、新商品を積極的に開発、投入し、品揃えを強化したほか、快適な購買環境を提供するため、カタログ、インターネット等の各媒体における売場の整備、拡充を推進し、販売力の強化に取り組んでまいりました。また、ネット経由の受注が増加していることから、顧客ニーズの変化に迅速に対応するための組織体制の整備を行ってまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は4,213百万円、営業利益は242百万円、経常利益は253百万円、四半期純利益は141百万円となりました。

なお、第２四半期連結会計期間において、株式会社アペックスの全株式を取得したことにより、第２四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。また、これに伴い、当社グループのセグメント区分を、カタログやインターネット等を通じて一般消費者に健康茶、健康食品、化粧品等を販売する「小売事業」及び主にテレビショッピングやカタログ販売を行う通信販売会社に生活雑貨や食品等を販売する「卸売事業」としております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、営業利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

①小売事業

小売事業では、インターネット利用者数の増加に応じ、ネット媒体を通じた新規顧客の獲得に注力したほか、当第３四半期連結会計期間から新たに、ネット顧客に対するマーケティング活動を専属で行う部門を設け、顧客属性別にお客様のニーズを探るとともに、お客様へのアプローチ方法の改善、再購入の促進を図ってまいりました。また、自社製造の主力商品、価格競争力のある集客商品、旬の季節商品等をバランス良く投入することにより、品揃えを強化するとともに、卸売事業で取扱っている北欧寝具の小売展開を開始し、売上の拡大に注力してまいりました。また、商品券セール（商品券、未使用の切手・ハガキ等の手持ちの金券で買い物ができる企画）や下取りセール（手持ちの健康食品または化粧品の送付で買上金額が割引される企画）等の独自サービスを実施し、他社との差別化に努めてまいりました。

この結果、売上高は3,542百万円、営業利益は204百万円となりました。

②卸売事業

卸売事業では、テレビショッピングやカタログ販売を行う通信販売会社に、各社がターゲットとする客層に最適な商品の提案や、商品の企画、開発を実施してまいりました。また、主力商品である北欧寝具ダンフィルシリーズの枕「フィベールピロー」においては、新たな切り口での広告展開により、ブランドイメージの強化を図るとともに、プロが選んだシリーズでは、人気商品「柚子茶」の販売促進に注力してまいりました。

この結果、売上高は670百万円、営業利益は69百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、4,222百万円となりました。

流動資産合計2,482百万円の主な内訳は、現金及び預金が728百万円、有価証券が659百万円となっております。

固定資産合計1,740百万円の主な内訳は、投資有価証券が610百万円、保険積立金が369百万円となっております。

②負債

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は、828百万円となりました。

流動負債合計585百万円の主な内訳は、未払金が229百万円、買掛金が189百万円となっております。

固定負債合計243百万円の主な内訳は、長期未払金が189百万円となっております。

③純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,394百万円となりました。

この主な内訳は、利益剰余金が2,656百万円、資本金が356百万円となっております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年12月５日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結の範囲の重要な変更）

第２四半期連結会計期間において、株式会社アペックスの全株式を取得したことにより、第２四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第２四半期連結会計期間より、平成24年８月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	728,350
受取手形及び売掛金	639,477
有価証券	659,803
たな卸資産	391,359
その他	75,723
貸倒引当金	△12,349
流動資産合計	2,482,366
固定資産	
有形固定資産	321,125
無形固定資産	
のれん	276,243
その他	151,214
無形固定資産合計	427,458
投資その他の資産	
投資有価証券	610,439
その他	392,843
貸倒引当金	△11,733
投資その他の資産合計	991,549
固定資産合計	1,740,132
資産合計	4,222,498
負債の部	
流動負債	
買掛金	189,295
未払法人税等	32,800
賞与引当金	56,886
役員賞与引当金	10,040
ポイント引当金	31,232
その他	264,907
流動負債合計	585,161
固定負債	
退職給付引当金	31,212
その他	212,067
固定負債合計	243,279
負債合計	828,440

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間 （平成25年４月30日）
純資産の部	
株主資本	
資本金	356,625
資本剰余金	326,625
利益剰余金	2,656,114
自己株式	△34
株主資本合計	3,339,329
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	54,729
その他の包括利益累計額合計	54,729
純資産合計	3,394,058
負債純資産合計	4,222,498

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成25年４月30日）
売上高	4,213,204
売上原価	1,398,883
売上総利益	2,814,320
販売費及び一般管理費	2,571,589
営業利益	242,731
営業外収益	
受取利息	2,999
受取配当金	1,420
為替差益	2,356
その他	4,626
営業外収益合計	11,403
営業外費用	
支払利息	85
その他	86
営業外費用合計	172
経常利益	253,962
特別利益	
受取補償金	6,196
特別利益合計	6,196
特別損失	
固定資産売却損	2,698
固定資産除却損	464
特別損失合計	3,163
税金等調整前四半期純利益	256,995
法人税等	115,095
少数株主損益調整前四半期純利益	141,899
四半期純利益	141,899

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年８月１日 至　平成25年４月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	141,899
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	52,273
その他の包括利益合計	52,273
四半期包括利益	194,172
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	194,172
少数株主に係る四半期包括利益	―

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
当第３四半期連結累計期間（自　平成24年８月１日　至　平成25年４月30日）
１．報告セグメントの概要
当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。
当社グループは、株式会社アペックスを連結の範囲に含めたことに伴い、「小売事業」及び「卸売事業」の２つを報告セグメントとしております。
「小売事業」では、主に健康茶、健康食品、化粧品を一般消費者に通信販売しております。
「卸売事業」では、主に生活雑貨、食品を通信販売会社に販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,542,787	670,416	4,213,204	―	4,213,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	140	5,371	5,512	△5,512	―
計	3,542,928	675,787	4,218,716	△5,512	4,213,204
セグメント利益	204,074	69,445	273,520	△30,788	242,731

（注）１．セグメント利益の調整額△30,788千円は、のれんの償却額△30,693千円、セグメント間取引消去等であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（のれんの金額の重要な変動）
「卸売事業」セグメントにおいて、平成24年11月１日付で株式会社アペックスの株式取得を行い、新たに連結子会社としたことにより、306,937千円増加しております。